

野生動物の息吹をかんじるタキタロウ館は 自然体験学習の拠点。



タキタロウ館

朝日連峰以東岳の麓、大鳥池に棲む伝説の巨大魚「タキタロウ」の資料展示、炉端造りの食事スペースがあります。

開館時間 AM9:00~PM6:00

休館日 毎週月曜日

- * タキタロウ資料展示コーナー
- * 朝日連峰登山・釣り情報コーナー
- * 渓流つりぼり（貸竿あり）
- * 食堂 イワナ焼、山菜そば・なめこそば（季節限定）
- * 売店 山菜・きのこ（季節限定）、山ぶどうアイス、アウトドア用品、おみやげ品、“タキタロウ”グッズ

イベント（要予約）

- * 魚のつかみどり・炭火焼き体験【5月下旬~10月下旬】
- * 大鳥産きのこ入いも煮会（食材・道具つき）【9月~10月】
- * 木工クラフト【4月下旬~11月末】



大鳥池に棲む伝説の巨大魚「タキタロウ」

朝日連峰の北端、以東岳北西の麓にある大鳥池は、ブナの原生林に囲まれた山上湖。怪魚が棲むとの伝説があり、昔から巨大魚の存在が認められていた。昭和57年に朝日村（現鶴岡市）で企画した以東岳登山のグループが、大鳥池湖面を泳ぐ大型の魚群を発見。魚は2メートル前後であると推測された。これがきっかけで、1983年に当時の朝日村が中心となって調査団を結成し3年にわたり調査を行ったが、「タキタロウ」を捉えることができなかった。「タキタロウ」の存在はルーツとともに今も謎に包まれ、釣り人のロマンをかきたてている。

タキタロウの形状とは？

- 口は三つ口でうさぎに似ており、下あごの先が長く伸びて上あごの先にくいこんでいる。
- 伝説では2m以上にもなるといわれる巨大魚である。尾びれが大きく、そのかたちは三味線のバチのように先が平らでくびれていない。
- 体の表面は粘膜が厚くぬめりがあって、茶褐色ではん点がぼやけてはつきりしない。



など